

世界恐慌と日本の中国侵略

1 単元のねらい

世界恐慌による経済の混乱を乗り切るために、欧米諸国が植民地獲得など様々な政策を行ったという流れが第二次世界大戦を招いたことに気付くとともに、我が国のアジア諸国との関係、政治・外交の動きから戦争までの経過を理解することができる。

2 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
単元の評価規準	<ul style="list-style-type: none"> 世界恐慌による経済の混乱、戦時下での国民生活に関する資料を適切に読み取り、世界恐慌に対する欧米諸国の政策を理解し、その流れが植民地獲得競争を促進させ、日中戦争を引き起こしたことに気付き、その知識を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 世界恐慌による欧米諸国の政策が植民地獲得競争を促進させ、我が国の軍部の台頭につながったことを多面的・多角的に考察したり、公平に判断したり、適切に表現したりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 世界恐慌による経済混乱を乗り切ろうとした欧米諸国の政策と我が国の動向について、見通しをもって学習に取り組んだり、学びを調整したりするなどして、主体的に学習している。

●学習改善につなげる評価 ○評定に用いる評価

	1	2	3	4	5
知識・技能		●	○		
思考・判断・表現				○	○
主体的に学習に取り組む態度	●○				

3 単元構造図 (全5時間) ☆獲得する認識

単元名 世界恐慌と 日本の中国侵略

単元学習前の生徒の認識

第一次世界大戦によって、世界の人々の考え方や生活は大きく変わっていった。日本でも大正デモクラシーによって、弱い立場の人々が立ち上がり、国民生活の向上を目指した運動が見られるようになった。今後、日本の国際的な立場はどうなっていくのだろうか。また、民主的で平和な世の中になっていくのだろうか。

第1時 世界恐慌とブロック経済 **世界恐慌とはどんなできごとで、各国はどんな対策をしたのだろうか。**

【●○主体的に学習に取り組む態度】 ☆世界恐慌 ☆ブロック経済 ☆ルーズベルト大統領 ☆ニューディール政策 ☆五か年計画

アメリカで起こった世界恐慌によって、世界経済に大きな影響を与えた。この世界恐慌に対して、イギリス・フランスはブロック経済を、アメリカはニューディール政策を行い、巻き返しを図った。ソ連は5か年計画中であったため、大きな影響を受けることはなかった。

第2時 欧米の情勢とファシズム **ドイツのヒトラーはどのような政策を行ったのだろうか。**

【●知識・技能】 ☆ヒトラー ☆ムッソリーニ ☆ナチス (国民社会主義ドイツ労働者党) ☆ファシズム ☆ユダヤ人

植民地をもたない第一次世界大戦敗戦国のドイツはヒトラーを主導者とし、ファシズム体制で公共事業と軍需産業の拡大を行い、世界恐慌からの影響を乗り切ろうとした。その結果、ドイツは軍事大国となった。イタリアも同様にファシズム体制をとり、ドイツと関係を密にしていく。

第3時 昭和恐慌と政党内閣の危機 **世界恐慌は、日本にどのような影響を与えたのだろうか。**

【○知識・技能】 ☆憲政の常道 ☆金融恐慌 ☆昭和恐慌 ☆蒋介石 ☆ロンドン海軍軍縮条約

第一次大戦後に慢性的な不況になっていた日本は、1927年の金融恐慌、世界恐慌の影響で起こった1930年の昭和恐慌の発生で深刻な不況になった。小作争議や労働争議が各地で起こり、財閥や政党に対する国民の不信が高まった。

第4時 満州事変と軍部の台頭 **なぜ日本は世界恐慌の混乱の中で、中国と戦うことを選んだのだろうか。**

【○思考・判断・表現】 ☆満州事変 ☆満州国 ☆リットン調査団 ☆国際連盟脱退 ☆五・一五事件 ☆二・二六事件

世界恐慌の混乱の中、日本では軍部が台頭することとなる。これは、国内での政治への不満が高まったことや他国を侵略することで国を立て直そうとする動きによるものである。その動きの一つとして、満州事変が引き起こされた。結果的に日本の経済は軍需などにより回復した。

第5時 日中戦争と戦時体制 **日中戦争は、日本や中国にどんな影響を与えたのだろうか。**

【○思考・判断・表現】 ☆日中戦争 ☆毛沢東 ☆蒋介石 ☆抗日民族統一戦線 ☆国家総動員法 ☆大政翼賛会 ☆皇民化

日中戦争によって、日本は国民生活のすべてを戦争へと向けていく体制をとっていく。中国は、国民党と共産党が協力体制をとるが、多くの犠牲者を出すこととなった。また、朝鮮も「皇民化」の名のもとに、日本によってこの戦争に巻き込まれる形となった。世界恐慌による経済の混乱によって、日本と中国が争う戦争が引き起こされてしまい、そしてこれを機に、日本は軍事大国への道を歩むことになっ

世界恐慌に対して世界の国々はどのように対応し、どのような影響を受けたのだろうか？

単元学習後の生徒の認識

世界恐慌により、世界の国々はそれまでとは違う政策を余儀なくされ、大きな体制の変化が求められた。特に、ドイツやイタリアはファシズム体制をとり、軍事大国としての道を歩んでいった。日本もまた、満州事変から始まる軍部の台頭により日中戦争を引き起こすなど帝国主義的な考えをもつ国となっていった。世界恐慌はそれまでの国際協調や民族自決という考え方から大きく方向転換させ、再び軍事に力を入れる時代へと変化させていく大きな出来事であった。世界はこの後、どうなっていくのだろうか。

4 単元指導計画

時	ねらい	学 習 活 動	評価規準	◇資料 指導・援助
1 世界恐慌とブロック経済	<p>世界恐慌による経済の混乱を欧米諸国がどのように乗り切ろうとしたかを理解し、各国の動向を追究していく意欲を高め、単元を貫く課題を設定することができる。</p> <p>☆世界恐慌 ☆ブロック経済 ☆ルーズベルト大統領 ☆ニューディール政策 ☆五か年計画</p>	<p>1 世界恐慌の様子を見て、世界恐慌について知り、本時の学習課題を設定する。</p> <p>世界恐慌とはどんな出来事で、各国はどんな対応をしたのだろうか。</p> <p>2 世界恐慌について資料から調べ、交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 世界恐慌の内容 1929年にアメリカ、ニューヨークの株式市場の株価暴落から始まり、世界中に広まっていった。 フランス、イギリスの対応 植民地との関係を密接にし、その中で自給自足的に経済を成り立たせるブロック経済を行った。 アメリカの対応 ルーズベルト大統領のもと、公共事業をおこなすなどのニューディール政策と呼ばれる対策をとった。 ソ連の対応 五か年計画を推進していたため、世界恐慌の影響を受けることなく成長した。 <p>《単元を貫く課題》</p> <p>世界恐慌に対して世界の国々はどのように対応し、どのような影響を受けたのだろうか。</p> <p>3 本時の学習をまとめる</p>	<p>世界恐慌に対する欧米諸国の政策について関心を持ち、今後の学習に対して見通しをもつことができている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p>	<p>◇ウォール街の様子 の写真 ◇ロンドンの街頭 で職を求める人の 写真 ◇ブロック経済地 図 ◇おもな国の鉱工 業生産グラフ</p> <p>・各国の資料を示す ことで、日本など 他国にも世界恐 慌があったこと に気付くことが できるようにす る。</p>
<p>1929年に、世界経済の中心となっていたアメリカが世界恐慌によって大きく崩れ、それによって世界経済に大きな影響を与えた。この世界恐慌に対して、イギリス・フランスは植民地との関係を密にするブロック経済を行い、アメリカは新規巻き返しをねらうニューディール政策を行って乗り切ろうとした。その他の国や日本はどんな対応をしたのだろうか。</p>				
2 欧米の情勢とファシズム	<p>ベルサイユ条約締結後のドイツの状況を確認することを通して、ドイツが経済的に立ち直るために軍需産業を盛んにしたり、民族の誇りを取り戻すためにユダヤ民族を迫害したりしたことが理解できる。</p> <p>☆ヒトラー ☆ムッソリーニ ☆ナチス（国民社会主義ドイツ労働者党） ☆ファシズム ☆ユダヤ人迫害</p>	<p>1 世界恐慌に対する各国の対応を振り返る。</p> <p>2 ベルサイユ条約後のドイツについて、確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ヒトラーの台頭 <p>ドイツのヒトラーはどのような対策を行ったのだろうか。</p> <p>3 ヒトラーが行った政策を調べ、交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 民主主義や自由主義を否定する全体主義の体制であるファシズムを進め、国内での支持を得た。 公共事業の拡大と軍需産業の拡大により失業者を減らし、軍事大国となった。 ユダヤ人を迫害することで、ドイツ国民の意識を一つにまとめた。 <p>4 イタリアの状況について確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> イタリアはドイツ同様ファシズム体制を確立した。 <p>5 本時の学習をまとめる</p>	<p>世界恐慌に対するドイツ、イタリアのファシズムの実態を資料から読み取り、経済とのつながりについて理解することができる。</p> <p>【知・技】</p>	<p>◇ナチスが行った 収穫祭の写真 ◇札東で遊ぶ子ども の写真 ◇ナチスの得た議 席の変化 ◇本を焼くナチス の写真</p> <p>・植民地を持たない ドイツ・イタリア の政策を確認す ることで、同じく 植民地を持たない 日本へと目を向け ることができるよ うにする。</p>
<p>ドイツやイタリアは、ファシズム体制のもと、公共事業や軍需産業を拡大することにより失業者を減らす政策で世界恐慌を乗り越えようとした。日本も世界恐慌の影響を大きく受けているが、今後立ち直すことができるのだろうか。</p>				

<p>3 昭和恐慌と政党内閣の危機</p>	<p>日本の政治の流れを、世界の動きと関連させながら調べることを通して、日本の世界恐慌への対応や政党政治が行きづまっっていく状況に気付くことができる。</p> <p>☆憲政の常道 ☆金融恐慌 ☆昭和恐慌 ☆蒋介石 ☆ロンドン海軍軍縮条約</p>	<p>1 第一次世界大戦後の日本の政治のイメージを問う。 ・政党政治 ・大正デモクラシー ・憲政の常道</p> <p>2 世界恐慌で、政党政治がどうなっていくかを予想し、課題を設定する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>世界恐慌は、日本にどのような影響を与えたのだろうか。</p> </div> <p>3 金融恐慌・昭和恐慌とその影響についての資料から課題について追究し、交流する。 ・世界恐慌が日本に波及し、都市や農村に影響を与えた。 →小作争議や労働争議が増加し、東北や北海道ではききんのため女性の「身売り」や「欠食児童」が社会問題となった。 ・経済に大きな影響をもつ財閥へ批判が高まる →日本の政党への不信が高まる。</p> <p>4 中国の統一を目指す蒋介石の動きや満州の支配を目指す関東軍の動きを確認する。</p> <p>5 浜口内閣の外交政策を確認し、浜口首相が東京駅で襲撃された理由を話し合う。</p> <p>6 本時の学習をまとめる</p>	<p>世界恐慌が、日本経済に与えた影響について、経済や政治に関連付けながら、理解することができる。</p> <p>【知・技】</p>	<p>◇第1回普通選挙のポスターと投票所からあふれる人々の写真 ◇政党の移り変わり ◇金融恐慌の写真 ◇農家の収入の動き ◇小作争議と労働争議の件数 ◇おそわれて重傷を負った浜口首相の写真</p> <p>・農家の収入の変化が小作争議の件数にどう影響しているかを考えることで、日本の経済の深刻な状況に気付くことができるようにする。</p>
<p>第一次大戦後に慢性的な不況になっていた日本は、1927年の金融恐慌、世界恐慌の影響で起こった1930年の昭和恐慌の発生で深刻な不況になった。小作争議や労働争議が各地で起こり、財閥や政党に対する国民の不信が高まった。</p>				
<p>4 満州事変と軍部の台頭</p>	<p>日本が経済の混乱を満州侵略という植民地を獲得することで乗り切ろうという経緯を調べることを通して、軍部が武力をかざして台頭していったことに気付くことができる。</p> <p>☆満州事変 ☆満州国 ☆リットン調査団 ☆国際連盟脱退 ☆五・一五事件 ☆二・二六事件</p>	<p>1 世界恐慌による日本への影響を確認する。 ・金融恐慌、昭和恐慌 ・ロンドン海軍軍縮会議</p> <p>2 この後、満州事変や日中戦争が起きることを確認し、課題を設定する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>なぜ日本は世界恐慌の混乱の中で、中国と戦うことを選んだのだろうか。</p> </div> <p>3 満州事変、五・一五事件、二・二六事件、国際連盟脱退についての資料から課題について追究し、交流する。 ・日本の軍部が満鉄の線路を爆破し、軍事行動を開始した。 →日本の軍部が武力によって、行動するようになった。 ・犬養首相が海軍将校によって暗殺される。(五・一五事件) →日本の海軍による政治に関わる行動である。 ・陸軍の青年将校が首相官邸や警察庁を襲撃する。(二・二六事件) →日本の陸軍による政治に関わる行動である。</p> <p>4 工業の変化のグラフから、軍需によって重化学工業が発展し、日本経済が回復したことを確認する。</p> <p>5 本時の学習をまとめる</p>	<p>世界恐慌の混乱の中で、日本が他国と争うことになった理由を様々な根拠を基に考察することができる。</p> <p>【思・判・表】</p>	<p>◇年表 ◇満州事変の広がり地図 ◇五・一五事件を報じる新聞 ◇二・二六事件のピラ ◇工業の変化と重工業の発達グラフ</p> <p>・それぞれの事件の首謀者がどんな肩書きを持っていたかを考えることで、日本の軍部の台頭に関わっていることに気付くことができるようにする。</p>
<p>日本は世界恐慌によって大打撃を受けていたが、満州や中国に侵略することによって経済を立て直そうと考えた。そのため、国内では五・一五事件や二・二六事件など、軍部が力もち台頭することが多くなった。結果的に日本の経済は回復し、世界恐慌からの影響を乗り越えることができた。</p>				

<p>5 日 中 戦 争 と 戦 時 体 制</p>	<p>日中戦争の長期化が各国に与えた影響を資料から読み取ることを通して、単元課題について多面的・多角的に考えをまとめることができる。</p> <p>☆日中戦争 ☆毛沢東 ☆蒋介石 ☆抗日民族統一戦線 ☆国家総動員法 ☆大政翼賛会 ☆皇民化</p>	<p>1 日中戦争について知り、課題を設定する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>日中戦争は、日本や中国にどんな影響を与えたのだろうか。</p> </div> <p>2 日中戦争の様子を教科書や資料集をもとに調べ、交流する。</p> <p><日本></p> <ul style="list-style-type: none"> ・戦争が長引いたことで、国家総動員法を定め、国民生活のすべてを戦争に動員できるようにした。 ・挙国一致のため、ほとんどの政党が解散し、大政翼賛会ができた。 ・節約をうったえる標語ができ、人々は戦争に勝つために節制を余儀なくされた。 <p><中国></p> <ul style="list-style-type: none"> ・それまで内乱が続いていた国民党の毛沢東と共産党の蒋介石が協力し、抗日民族統一戦線が結成された。 <p><朝鮮></p> <ul style="list-style-type: none"> ・皇民化の名のもとに、多くの朝鮮人が戦争に動員されていた。 ・創始改名や日本語の使用などが日本によって推し進められた。 <p>3 本時の学習をまとめる</p> <p>日中戦争によって、日本は戦争を第一とする国に変わり、中国や朝鮮を戦争に巻き込んでいった。世界恐慌により、世界の国々はそれまでとは違う政策を余儀なくされ、大きな体制の変化が求められた。その中で日本は、軍事大国としての道を歩むこととなった。</p>	<p>日中戦争が与えた影響を戦争の様子や当時の政策などを基にして考察し、日本の軍事国家としての歩み出しを捉えることができる。</p> <p>【思・判・表】</p>	<p>◇盧溝橋をわたる日本軍の写真 ◇日中戦争の広がり地図 ◇衣料切符と米穀通帳 ◇節約をうったえる標語 ◇配給写真</p> <p>・日本、中国、朝鮮の変化をとらえ、単元課題に立ち返ることで、各国が受けた影響を再度考えられるようにする。</p>
--	---	---	--	--